



テレビの中はどうなっているの

いちばん大切なのはブラウン管

テレビは、非常にたくさんの部品を使って、組み立てられています。テレビで、いちばん大切な部品は、画像がうつる所です。これは、ブラウン管とよばれるものです。

ブラウン管の、いちばんおくの所には、懐中電灯のような形の装置が、取り付けられています。これは、電子じゅうとって、電子のつぶを、テレビの画面に向けて、発射する部分です。

画面の内側には、特別な薬（けい光体）がぬらされていて、電子のつぶがあたると、そのあたった所が光るようになっています。そして、ブラウン管に画像がうつります。

たくさんの部品からできている

ブラウン管についている、電磁石は、ブラウン管とともに、大切な部品の一つです。

この電磁石で、電子の飛ぶ方向を上下、左右にふって、525本の列に変え、光の画像を作っています。テレビの画面を虫めがねで見ると、たくさんの線の集まりに見えるのはこのためです。

そのほかに、アンテナでとらえた、電気信号を強める部品、チャンネルを選ぶ、チューナーや音を出すスピーカーなど、たくさんの部品が、組み合わさってできています。

（監修・青木 国夫）

